



2021年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月6日

上場会社名 株式会社 ニューテック 上場取引所 東
 コード番号 6734 URL <http://www.newtech.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳瀬 博文
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長兼管理部長 (氏名) 宮崎 有美子 TEL 03-5777-0888
 四半期報告書提出予定日 2020年10月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第2四半期の連結業績（2020年3月1日～2020年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第2四半期	1,618	12.1	216	56.1	220	54.9	153	51.5
2020年2月期第2四半期	1,443	1.5	138	26.9	142	27.2	100	33.1

(注) 包括利益 2021年2月期第2四半期 152百万円 (51.7%) 2020年2月期第2四半期 100百万円 (32.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第2四半期	79.82	—
2020年2月期第2四半期	52.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第2四半期	3,181	1,746	54.9
2020年2月期	3,100	1,641	53.0

(参考) 自己資本 2021年2月期第2四半期 1,746百万円 2020年2月期 1,641百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2021年2月期	—	0.00	—	—	—
2021年2月期（予想）	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年2月期の連結業績予想（2020年3月1日～2021年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,335	6.6	327	△8.9	326	△10.8	227	△12.1	118.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期2Q	2,081,000株	2020年2月期	2,081,000株
② 期末自己株式数	2021年2月期2Q	164,195株	2020年2月期	164,195株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期2Q	1,916,805株	2020年2月期2Q	1,916,805株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料の「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(追加情報)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界規模での新型コロナウイルス蔓延の影響で未だ、国内企業の業績は全く見通せず、先行きは今まで経験したことの無い不透明感が続いております。こうした状況の中、国内IT関連投資に関しても、当該期間中は新規の投資は手控えられ、大幅に落ち込んでいる状況です。

このような環境の下、当社でも政府の緊急事態宣言の発動に合わせ在宅勤務やテレワーク等による外出自粛を徹底した結果、営業活動の停滞は避けられず、当該期間の取引先新規受注は6月以降にずれ込んだものが多く苦戦が続いておりましたが、当該期間が明けて遅れていた大口受注品の部材調達及び製造、更に出荷が順調に進み成果を上げることが出来ました。

このような状況の下、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,618,420千円（前年同期比12.1%増）と、大幅な増収となりました。製品売上に関しては、OEM向けの製品（ミラーカード、小型NAS）の出荷は、308,723千円（前年同期比4.4%減）でありましたが、主力製品のNASの販売においては、小型NASの大口の案件があり、772,269千円（前年同期比68.4%増）と大幅な増加となりました。その結果、ストレージ本体及び周辺機器を含む製品売上高は全体では1,332,035千円（前年同期比16.6%増）と大幅に増加しました。また、商品売上は92,466千円（前年同期比26.2%減）となりました。

サービス売上は、株式会社ITストレージサービスの扱った当社以外の製品の保守契約も加わり、193,917千円（前年同期比10.6%増）で、増収となりました。

以上の結果、損益面では、増収及び粗利率の向上（前年同期比2.1ポイント増）により、営業利益216,783千円（前年同期比56.1%増）、経常利益220,607千円（前年同期比54.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益153,004千円（前年同期比51.5%増）となりました。

品目別の売上高は、次のとおりであります。

期 別	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		前連結会計年度	
	自 2019年3月1日 至 2019年8月31日		自 2020年3月1日 至 2020年8月31日		自 2019年3月1日 至 2020年2月29日	
	金 額	前年同期比	金 額	前年同期比	金 額	前年同期比
品 目 別	金 額	前年同期比	金 額	前年同期比	金 額	前年同期比
	千円	%	千円	%	千円	%
ストレージ本体	1,046,188	△0.2	1,259,943	20.4	2,256,369	11.9
周辺機器	96,685	73.3	72,091	△25.4	177,298	30.3
製品小計	1,142,874	3.5	1,332,035	16.6	2,433,667	13.0
商 品	125,313	△20.7	92,466	△26.2	319,983	△9.5
サ ー ビ ス	175,373	9.5	193,917	10.6	374,486	16.7
合 計	1,443,561	1.5	1,618,420	12.1	3,128,137	10.6

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較し81,182千円増加し3,181,650千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して90,418千円増加し3,010,313千円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金212,366千円、たな卸資産68,546千円の増加に対し、現金及び預金が186,924千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して9,235千円減少し171,336千円となりました。これは主に、工具、器具及び備品が8,419千円減少したこと等によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して6,072千円減少し1,353,286千円となりました。これは主に、仕入債務56,362千円、前受収益21,151千円等の増加に対し、1年内返済予定の長期借入金53,875千円、未払金17,420千円、未払法人税等6,713千円が減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して17,769千円減少し81,521千円となりました。これは主に、長期借入金17,811千円減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して105,024千円増加し1,746,842千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益153,004千円の計上に対し、配当金の支払い47,920千円があったことによる利益剰余金105,084千円の増加等によるものであります。自己資本比率は54.9%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べ186,924千円減少し1,584,705千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は64,653千円(前年同期は129,027千円の使用)となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益220,607千円、減価償却費13,832千円、仕入債務の増加56,362千円、前受収益の増加21,151千円等であり、主な資金減少要因は、売上債権の増加212,366千円、たな卸資産の増加68,546千円、法人税等の支払76,144千円、その他負債の減少21,377千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2,769千円(前年同期は19,467千円の使用)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出2,426千円、無形固定資産の取得による支出343千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は119,500千円(前年同期は94,712千円の使用)となりました。これは、長期借入金の返済による支出71,686千円、配当金の支払額47,814千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の通期連結業績予想につきましては、2020年4月13日付の「2020年2月期 決算短信」の連結業績予想において公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,771,629	1,584,705
受取手形及び売掛金	876,304	1,088,671
商品及び製品	38,840	44,734
仕掛品	77,684	158,323
原材料	135,941	117,954
前払費用	14,955	12,170
その他	4,539	3,753
流動資産合計	2,919,895	3,010,313
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	20,525	18,973
工具、器具及び備品(純額)	41,507	33,088
有形固定資産合計	62,033	52,061
無形固定資産	5,693	4,971
投資その他の資産		
投資有価証券	80,389	80,302
繰延税金資産	7,450	9,161
差入保証金	23,767	23,767
長期前払費用	1,239	1,071
投資その他の資産合計	112,845	114,303
固定資産合計	180,572	171,336
資産合計	3,100,467	3,181,650
負債の部		
流動負債		
買掛金	145,215	201,578
1年内返済予定の長期借入金	128,182	74,307
未払金	42,386	24,965
未払法人税等	82,939	76,225
製品保証引当金	23,956	22,045
未払費用	64,132	64,811
前受収益	839,759	860,911
預り金	9,003	7,669
その他	23,783	20,771
流動負債合計	1,359,358	1,353,286
固定負債		
長期借入金	92,781	74,970
資産除去債務	6,509	6,551
固定負債合計	99,290	81,521
負債合計	1,458,649	1,434,807

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	496,310	496,310
資本剰余金	510,925	510,925
利益剰余金	711,614	816,699
自己株式	△78,265	△78,265
株主資本合計	1,640,584	1,745,669
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,233	1,173
その他の包括利益累計額合計	1,233	1,173
純資産合計	1,641,818	1,746,842
負債純資産合計	3,100,467	3,181,650

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
売上高	1,443,561	1,618,420
売上原価	979,549	1,064,542
売上総利益	464,011	553,878
販売費及び一般管理費	325,117	337,094
営業利益	138,894	216,783
営業外収益		
受取利息	8	9
受取配当金	1,923	1,923
為替差益	2,692	1,062
助成金収入	720	720
受取販売奨励金	138	339
その他	473	1,350
営業外収益合計	5,955	5,404
営業外費用		
支払利息	1,447	560
売上債権売却損	833	986
その他	176	34
営業外費用合計	2,457	1,580
経常利益	142,392	220,607
税金等調整前四半期純利益	142,392	220,607
法人税、住民税及び事業税	41,526	69,287
法人税等調整額	△99	△1,684
法人税等合計	41,427	67,602
四半期純利益	100,965	153,004
親会社株主に帰属する四半期純利益	100,965	153,004

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益	100,965	153,004
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△129	△60
その他の包括利益合計	△129	△60
四半期包括利益	100,836	152,944
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	100,836	152,944
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	142,392	220,607
減価償却費	12,870	13,832
受取利息及び受取配当金	△1,931	△1,932
支払利息	1,447	560
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△515	△1,910
売上債権の増減額(△は増加)	△132,915	△212,366
たな卸資産の増減額(△は増加)	△82,602	△68,546
仕入債務の増減額(△は減少)	△96,643	56,362
前受収益の増減額(△は減少)	65,039	21,151
その他の資産の増減額(△は増加)	4,379	3,695
その他の負債の増減額(△は減少)	△10,953	△21,377
小計	△99,429	10,076
利息及び配当金の受取額	1,968	1,932
利息の支払額	△1,307	△518
法人税等の支払額	△30,258	△76,144
営業活動によるキャッシュ・フロー	△129,027	△64,653
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△18,959	△2,426
無形固定資産の取得による支出	△508	△343
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,467	△2,769
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	50,000	—
長期借入金の返済による支出	△106,376	△71,686
配当金の支払額	△38,336	△47,814
財務活動によるキャッシュ・フロー	△94,712	△119,500
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△243,208	△186,924
現金及び現金同等物の期首残高	1,730,018	1,771,629
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,486,810	1,584,705

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症拡大が当社グループの業績に与える影響は軽微であり、当第2四半期連結累計期間以降も重要な影響がないという仮定に基づき会計上の見積りを行っております。

しかしながら、本感染症の収束時期は不透明であり、今後の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。